

きずな



我孫子市少年センター便り 第164号

我孫子市少年指導員連絡協議会 会長 飯山初美

我孫子市少年センター センター長 戸塚美由紀

電話 7185-1367 FAX 7182-5867

日ごとに、春の訪れを感じる季節になりました。小学6年生、中学3年生の皆さんは、間もなく卒業式を迎えます。寂しさや不安もあることと思いますが、きっと期待で胸がいっぱいなのではないでしょうか。

昨年5月に、令和の時代が幕を開けましたが、秋には相次ぐ台風の襲来で千葉県にも未曾有の災害が発生し、年明け早々には新型コロナウイルスの流行と、社会全体を不安にさせる出来事が相次ぎました。

一方、大いに盛り上がったラグビーワールドカップや、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けてなど、明るく楽しい話題も尽きません。令和の時代が希望に満ちた明るい時代となることを願ってやみません。

子どもたちの明るい未来のために、身近なことから、やれることから、保護者の皆様、地域の皆様とともに少年指導員一同、安全に生活できる社会を目指して、引き続き活動していきたいと思っております。(久寺家中区 橋本)

少年指導員のつぶやき

私は、我孫子市で生まれ育ちましたが、地域と学校が連携して、パトロールをしていることを知りませんでした。今年度から、教員となり、指導員になりましたが、子どもたちの安全・安心のために活動できることに幸せを感じています。

パトロール中に子どもたちと出会うのは数えるくらいですが、団地特有の入り組んだ道を、丁寧に説明してくれる指導員や、「ご苦労様です。」と声をかけてくれる地域の方々の温かさから、学校と地域の強いつながりを感じています。また、祭礼では、地域の方が声をかけている姿や、屋台などでサービスしている姿を見ると、地域が子どもたちを育てていることを肌で感じます。

人通りが少なく暗い場所は、大人でさえ怖いと感じます。子どもたちに同じ思いをさせないためにも、地域の方々と協力して行うパトロールは、大切なことだと思っています。

湖北台中学校 青木 駿太

私が我孫子市に住みはじめてから約15年、これまで職場と自宅を往復する日々で、自分が住む地域についてほとんど関心がありませんでした。そのため、自分の子どもたちが普段どこで遊んで、どんな道を通っているのか、友達はどこに住んでいて、どこまで遊びに行っているのかなど、気にしたこともありませんでした。

しかし、今年度より少年指導員として活動するなかで、自分がどんな場所に住んでいたのか、周りにはどんな場所があるのか、危険箇所はどこかなど、理解を深めることができました。パトロールを重ねていく中で、俗に言う「不良少年」らに遭遇したことは今のところありません。しかし、この活動は、地域の健全な子どもたちが犯罪などに巻き込まれないように見守ることなのかもしれません。これからも平穏で安全なこの地域のために、子どもたちのために、少しでもお役に立てればと思っています。

新木小学校 PTA 吉澤 一巳



夕方以降の外出時には、**明るい色の服装・反射材・LEDライト**

自動車のライトを反射したり、自ら発光したりすることで、自動車の運転手などに早めに存在を知らせることができます。

千葉県警パンフレット「安全・安心ちば」より

交通事故から子どもを守ろう！

子どもたちの歩行中の事故が増えています。事故に遭わないようにするには、どうすればよいでしょう。

子どもの遭う事故の特徴

- ・ 自宅から 500メートル圏内
- ・ 歩行中の事故は小学1年生が多い(学年が上がるにつれ、自転車の事故が増える傾向があります。)
- ・ 4～5月、10月に多発(特に5月)
- ・ 朝 7:00 前後
夕方 15:00～17:00 (下校後の外出時)
- ・ 車道への飛び出しが多い



Point

子どもたちの気が緩みやすい場所での事故が、多くなっています。

子どもには特性がある

- ・ あるものに注意が向くと、周りの様子が目に入らない。
- ・ 曖昧な言葉はよく理解できない。
- ・ 物の陰で遊ぶことを好む。
- ・ 大人の真似をする。



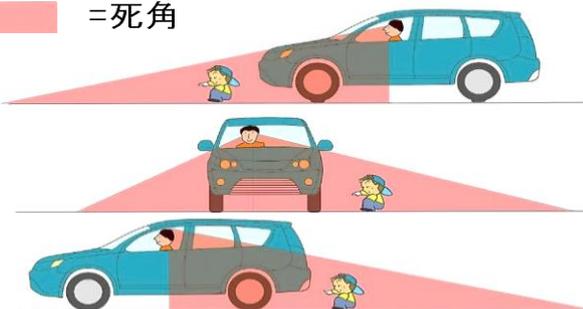
Point

事故の原因に、子ども特有の心理的特性が関係しています。

私たち大人は・・・

- ・ 交通ルールを守り、子どものよいお手本になりましょう。
- ・ 特性を理解して、子どもを見かけたら安全運転を心がけましょう。
- ・ 車の“死角”を理解しましょう。

■ = 死角



※大型車の死角は更に大きくなります。



Point

お子さんと一緒に、普段から使用しているの道路の危険箇所を確認しましょう。また、学校や地域で催される交通安全教室と一緒に参加してみましょう。

歩くときのルールをしっかりと守ろう

〈道路に飛び出さない〉

家や公園から道路に飛び出すと車にぶつかるかもしれません。

〈駐車中の車は危ない〉

止まっている車に近づいたり、車の陰で遊んだりしてはいけません。

〈信号を守る〉

青の時だけわたろう。赤や黄色の時は、一歩下がって青を待ちましょう。

〈横断歩道を渡る〉

横断歩道は一度止まって、右左を見て安全を確認し、手を挙げて渡りましょう。横の車が曲がってくるかもしれません。

(湖北中区：本多)

気を付けよう！自転車の乗り方

危険な乗り方の例

- ・ 二人乗り
- ・ イヤホンの使用
- ・ 片手運転(傘さし・スマホいじり)
- ・ スピードの出し過ぎ
- ・ 何台かで並んで走る
- ・ 無灯火(車側からの発見が遅れます)

パトロール中に、特に気になるのが、無灯火運転です。子どもに限らず大人もよく見かけます。歩行者、運転手、自分の安全の為、ライトは必ず点けましょう。(湖北台中区：小谷)



← 灯 火

無灯火→



参考資料

- (1)「みんなであらう」どうろのやくそく九都県市子どもの歩行中の交通事故防止に向けた検討会
- (2)「千葉県警交通安全ホームページ」
https://www.police.pref.chiba.jp/kotsusomuka/traffic-safety_defend-11.html
- (3) 警察庁「児童生徒の交通事故」
<https://www.npa.go.jp/bureau/traffic/anzen/anzenundou/jidou-seitojiko.pdf>
- (4)「なくそう子どもの交通事故」警視庁

編集後記：登下校時の事故のニュースを聞くと本当に胸が痛みます。今年度初めて少年指導員となり、活動を重ねていく中で、少しでも気付いたことがあれば声をかけることが大切だと感じました。必要のない声かけかもしれないけれど、そのひと言で、重大事故を防げるかもしれません。ネット社会の現代でも、大切なのは人と人とのコミュニケーションだと思いました。これからも子どもたちの安全を、皆様とともに見守っていきたいと思います。久寺家中区 橋本麻理子